

旅館の老舗、約100年ぶりの用地取得でホテル新設
「お茶」をテーマに新ホテル！創業120年の来年12月に新橋で開業
茶屋をイメージした客室で“和のおもてなし”

旅館を開業して120年を迎える老舗(株)龍名館(東京都千代田区、浜田敏男社長、資本金5千万円)は、約100年ぶりに用地を取得し、新橋6丁目に地上9階建てのホテル(1泊2.3万円～)を、2018年12月1日(土)に開業します。

開業する「ホテル1899(イチハチキウキウ)東京」は、「お茶」をテーマに、日本らしさを打ち出した宿泊特化型のホテルとして運営します。

用地代を含む初期投資額は約35億円で、年間2万組の宿泊を想定しており、2019年度は4億円の売り上げを目指します。

運営は新ホテルのために設立した当社100%出資の子会社「(株)1899ホスピタリティ」が行います。

「ホテル1899東京」は、当社が旅館として創業した「1899年」を冠したブランド「1899」の第1号ホテルです。約370平米の敷地内に、地上9階建てのビル(延べ床面積約2400平米)を新築します。

客室数は63室で、「茶屋をイメージした庵(いおり)」をデザインコンセプトにした4種類のデザイナーズルームを用意します。客室タイプはダブルとツインルーム(2人1室タイプ)のみで、宿泊料金は1泊税込2.3万円～4.5万円です。

1階はお茶を使った料理とスイーツを提供するレストラン兼デリカテッセンをオープンし、2階にフロントを設け、3階より上を客室にします。フロントでは、日本茶を試飲できるカウンターを設けるほか、お茶関連の商品を販売するショップを併設します。

ホテルは、銀座・六本木・丸の内など人気の観光地に近い好立地です。羽田空港からタクシーで約20分の近さで、JRやメトロなど4駅が徒歩圏内にあるアクセスの良さを売り出します。



部屋奥側の床を高くし、
茶屋の縁側のように腰をかけられる客室

当社が、用地を取得し、宿泊施設を新設するのは創業期以来で、約100年ぶりです。2020年に向けます激化するホテル戦争の中、2軒のミシュラン掲載ホテル(「ホテル龍名館お茶の水本店」「ホテル龍名館東京」)の運営ノウハウに加え、旅館から続く、高品質なおもてなしのサービスや文化を顧客にアピールし、年間2万組の利用で4億円の売り上げを新ホテルで目指します。

国内利用(観光、ビジネス)のほか、訪日外国人もターゲットに運営します。

開業に向け、経験者を含む約10人を採用する計画です。

当社は今後も新規出店を検討しており、「龍名館」と「1899」の2ブランドのホテルを、関東、関西の主要都市で展開したい考えです。2030年以降には、御茶ノ水の「ホテル龍名館お茶の水本店」ビルの全面建て替えの構想があり、多店舗展開でブランド力を上げ、ビル建設時のホテル誘客力やテナント誘致力を高めていきます。

デザインコンセプトは「現代的に解釈された茶屋体験」

新ホテル全体のデザインコンセプトは、「現代的に解釈された茶屋体験」です。モダンにアレンジされた“お茶文化”を、館内と客室の随所で感じていただける内装にします。

客室のカーペットやインテリアは、木目と緑茶をイメージしたやわらかいグリーンを基調にしています。

お部屋にご用意するオリジナルの日本茶とともに、都心にいながらゆったりと寛げる、温かみのある空間です。

「スーペリアダブル B -ENGAWA-」など 35 室は、「茶屋の縁側」をモチーフにした家具を設置します。また、客室の奥側(ベッド側)半分の床全体を約 40cm 高くすることで、茶屋の縁側のように腰をかけて、旅や仕事の疲れを癒していただけます。

また、お茶をその場で淹れていただけるように、一部の部屋では洗面台をベッドルーム側のデスク横に配置しているのも、ほかにはない珍しい特長です。

“お茶料理”や“お茶スイーツ”を提供する、デリカテッセン&レストラン「DELI&BAR」

ホテル 1 階には、日本茶各種に加えて、抹茶などを使った“お茶料理”や“お茶スイーツ”などを提供する、レストラン兼デリカテッセン「DELI&BAR(デリ&バル)」をオープンします。宿泊者向けの朝食に加え、ご宿泊者以外でも利用できるランチとカフェ、ディナー営業を行います。

デリカテッセンにすることで、近隣のオフィス街の中食需要も取り込みます。

また、日本全国から取りよせたものや当社オリジナルのものなど、常時 10 種以上の日本茶の茶葉の物販販売も行います。



2 階はフロントに加え、日本茶の試飲カウンターや、お茶関連のアイテムを販売するショップを併設



木目と、緑茶をイメージしたグリーンが基調 “和の要素”を打ち出した、寛ぎの空間



日本茶を使ったユニークな料理やスイーツを提供、テイクアウトも可。1 階のレストラン「DELI&BAR」

※全てイメージパースです

新ブランド「1899(イチハチキュウキュウ)」について

ホテルの新ブランド「1899」は、当社創業の地・御茶ノ水で運営している、日本茶レストラン「RESTAURANT 1899 OCHANOMIZU(レストラン 1899 お茶の水)」から派生したものです。

「レストラン 1899 お茶の水」(「ホテル 龍名館お茶の水本店」に併設)は、日本茶を飲むだけでなく、「日本茶」を「淹れる」「食べる」をコンセプトに、「飲むお茶」と「お茶料理」「お茶スイーツ」を提供しています。

同レストランと新ホテルが共同で、「1899」ブランドの“お茶をテーマにしたアイテム”(お茶を使ったケーキやシャンパーなど)を物販販売するなどして、相互の認知度アップを狙います。



“抹茶ポテサラ”と“抹茶ビール”

新規開業ホテル 概要

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| ホテル名 | ホテル 1899 東京 | 開業日 | 2018年12月1日(土) |
| 住所 | 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目4番 | | |
| 交通 | JR、東京メトロ、都営地下鉄、ゆりかもめ「新橋駅」から徒歩9分 JR、東京モノレール「浜松町駅」から徒歩13分 都営地下鉄「御成門駅」徒歩6分／都営地下鉄「大門駅」徒歩10分 羽田空港からタクシーで約20分／成田空港からタクシーで約60分 | | |
| 客室数 | 63室(2人1室タイプ) 「スーパーリアダブル A -IORI-」28室 / 「スーパーリアダブル B -ENGAWA-」7室 「スタンダードダブル」21室 / 「コーナーデラックスツイン」7室 | | |
| 客室料金 | 1泊2万3000円～4万5000円 | | |
| 客室面積 | 17.9㎡～33.6㎡ ※平均20.6㎡ | 延床面積 | 722.19坪(2387平米) |
| チェック時間 | チェックイン15時、チェックアウト12時 | 駐車場 | 有料4台有り(1泊2500円) |
| 付帯施設 | レストラン ※宿泊客の朝食サービスの提供および通常営業(営業時間未定) | | |
| 投資額 | 約35億円(用地代を含む) | 売上目標 | 年間約4億円 |
| 目標宿泊客数 | 年間20,000組 | 施工 | 株式会社 大林組 |
| 電話 | 03-5289-7088(開業準備室) | ホームページ | http://1899.jp/hotels/tokyo/ |
| 運営会社 | 株式会社 1899 ホスピタリティ | | |
| 予約方法 | 開業日2018年12月1日から2019年11月30日までの、ご宿泊のご予約を受け付けます 【電話】03-5289-7088 【メール】 info.hotel1899tokyo@ryumeikan.co.jp 【ホームページ】 http://1899.jp/hotels/tokyo/ | | |

<ご参考資料>

老舗「龍名館」、おもてなしの心を受け継ぎながら、旅館からホテル業への転換へ

当社龍名館の源流である、1899年(明治32年)開業の旅館「旅館龍名館本店」は、日本画家の川村曼舟や伊東深水らはじめ、作家、芸術家など多くの文化人に愛されてきた伝統を持ちます。

同旅館は、作家の幸田露伴の次女である幸田文が、小説「流れる」で、帝国ホテルと並び在京の名店に挙げたほか、宿泊した画家が宿泊代の代わりに自身の絵を置くなどのエピソードが残る老舗です。



木造時代の旅館龍名館本店

その高品質なサービスや文化、日本旅館のきめ細やかなおもてなしの心を受け継ぎながら、当社は昨今、旅館からホテル業への転換を進めてきました。

2009年、東京駅前(八重洲)の「旅館呉服橋龍名館」(1963年「ホテル八重洲龍名館」に改称)を更地にして全面建て替えし、15階建て135室の「ホテル龍名館東京」を開業。

2014年には、御茶ノ水の「旅館龍名館本店」を改修。一般旅館から小規模高級ホテルに業態を変更し、全9室がスイートルームでもてなす「ホテル龍名館お茶の水本店」として、開業しました。

ミシュランの高評価を得る2軒のホテル運営ノウハウを活用

新ホテルの運営には、「ミシュランガイド東京2018」に掲載されるなど評価も高いホテル2棟(「ホテル龍名館お茶の水本店」「ホテル龍名館東京」)で培った、細かな顧客管理や商品(宿泊プラン)企画などの販売ノウハウを活かします。

特に東京駅前の「ホテル龍名館東京」は、過去5年連続で、売上を更新し続けています。現在(2017年1月～10月)の足元の宿泊稼働率は約90%で、宿泊人数の海外宿泊客比率は約60%まで高まっています。海外でのウェブ展開や宿泊マニュアルづくり、人材育成、人員配置などで互いに連動させます。

株式会社龍名館 会社概要

| | | | |
|------|--|------|--------------|
| 所在地 | 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-4 | | |
| 代表者 | 代表取締役社長 浜田敏男 | 設立 | 明治32年6月 |
| 資本金 | 50,000,000円 | 事業内容 | 旅館・飲食店・不動産経営 |
| 系列企業 | (株)龍名館ホテルシステムズ、(株)1899ホスピタリティ、八重洲龍名館ビル管理(株)龍名館ビル開発(株) | | |
| 系列店 | 【ホテル】「ホテル龍名館お茶の水本店」「ホテル龍名館東京」 【レストラン】「RESTAURANT 1899 OCHANOMIZU」「花ごよみ東京」「紺碧の海」 | | |

本件に関する報道各位からのお問い合わせ

(株)龍名館 広報担当 山口

TEL: 03-5298-2988 MAIL:p.r@ryumeikan.co.jp

広報事務局((株)Clover PR内) 担当 福本、金井

TEL: 03-6452-5220 MAIL:cloverpr@cloverpr.net